

## 令和7年度 第5回中津江グループホームなごみ運営推進会議議事録

実施日時	令和 8 年 1 月 22 日 (木) 14:00~15:00	
場所	グループホームなごみ ほほえみ居間	
出席者	利用者、家族、中津江1区町内会長、萩市消防団椿東第一分団、中津江県営住宅H棟管理者、萩市高齢者支援課、萩市地域包括支援センター、萩市社会福祉協議会、グループホーム管理者、介護主任兼計画作成担当者、介護職	
前回からの継続課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無</li> <li>・ 有</li> </ul>	
はじめに		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループホーム（以下 GH）管理者より挨拶。年末にもちつき、絵馬づくり、門松づくり、年始には初詣や正月遊びなどの季節行事を実施した。インスタグラムにもその様子を掲載している。</li> <li>・ 先日、外出支援の一環で明倫学舎へ行った。以前の利用者のご家族に偶然再会し、「母もこのように外出させてもらっていたのか」と感謝の言葉をいただいた。また、明倫学舎のスタッフの方や小学校の児童からの暖かい声掛けや挨拶を通じて、地域に出ることで得られる繋がりの大切さを再確認することができた。今後も感染症対策を継続しつつ、地域の関わりをより深めていきたいと思う。</li> </ul>
近況について	利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GH 管理者より、令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月の利用状況（利用者の平均年齢、平均要介護度、入退所状況等）を説明する。</li> </ul>
	活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GH 介護職より、広報誌なごみ便り（第 167 号 / R7. 12 月・R8. 1 月）について説明する。</li> <li>・ GH 介護主任より、令和 7 年 12 月及び令和 8 年 1 月の事故報告と対策について説明する。</li> <li>・ GH 介護主任より、身体拘束をしないケアの取り組みについて説明する。</li> <li>・ GH 管理者より、認知症ナイト Web セミナー『認知症の「食」を理解する』の研修内容について説明する。</li> </ul>
評価	利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困ったことはないですよ。</li> <li>・ 果物など美味しいものをたくさん食べたいです。</li> </ul>

家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故報告に「包丁による負傷」があつたが、利用者が包丁を使う機会を提供してくれている職員の尽力に感謝している。丸魚からの調理など、大変だと思うが今後も続けていってほしい。</li> </ul> <p>先日、母の認知症外来の初診に同行し、医師に母の状態を適切に伝えていただき、適切な投薬やケアに繋げることができた。1人1人に寄り添った対応に感謝している。</p> <p>(利用者家族)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年末、病院に入院していた家族が身体拘束を受ける場面に遭遇し、辛い思いをした。GHなごみでの、言葉による身体拘束を排除しようとする取り組みや姿勢は、家族としては心強く、救われる思いだ。転倒予防において、本人にあうシユーズ選びなどの対応策の検討は大変なことだと思う。</li> </ul> <p>臼と杵を使った本格的なもちつきなどは自宅では実施が難しいのでこういった取り組みをしていただけて感謝している。</p> <p>(利用者家族)</p> <p>→シユーズ等の購入は個々の状態に合わせて検討している。面会時などにお気づきの点があれば、隨時相談していただきたい。</p> <p>(GH管理者)</p>
地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>もちつきや門松づくりなど、在宅では経験しにくい季節行事を取り入れていて、利用者のいい刺激になっていると感じる。事故報告では転倒が多く、利用者の加齢に伴って筋力も低下していくのだと思うが、日々の生活の中で下肢筋力を鍛える等の工夫ができないか。</li> </ul> <p>「身体拘束をしないケア」において、「ちょっと待ってね」と伝える際も理由を添えるという取り組みは素晴らしいと思う。</p> <p>(中津江1区町内会長)</p> <p>→利用者の平均年齢が87.7歳と高齢化しており、それに伴って身体機能の低下も顕著である。生活リハビリとして、立位での食器洗いやユニットを跨いだ配膳など、動く機会を意識的に設けている。今後も活動量を増やす工夫を継続したい。</p> <p>(GH管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲でも身体の痛みを訴える高齢者は多い。また、昨今の報道を踏まえ、火災には特に注意してほしい。</li> </ul> <p>(中津江県営住宅H棟管理者)</p> <p>→先日のもちつきではカセットコンロを使用した。火器の取り扱いには細心の注意を払いたい。</p> <p>(GH管理者)</p>

	<p>市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機者約 20 名のうち、男性の割合はどの程度か。また、調理の事前準備など職員の負担は大きいと思うが、食への取り組みはぜひ継続してほしい。 (萩市高齢者支援課) →待機者の大半は女性であり、男性は数名程度である。 (GH 管理者) →嫌いな食べ物があると食事に全く手を付けない利用者もいるため、嫌いな食べ物を除けるなど、嗜好に合わせた個別対応を行っている。また、「今日のうちのおかず」という利用者が主体となって家庭の味を再現する献立を組み込んだり、毎週木曜日に「魚の日」(鮮魚の調理)を実施したりしている。調理の過程で利用者の得意分野を活かしてもらうことで意欲向上に繋がるようにしている。 (GH 介護職)</li> <li>「1人の食事より、みんなで食べる食事が美味しい」いう在宅の方の声もある。食の楽しみや季節行事の機会があることはいいことだと思う。生活の中での活動と転倒リスクは背中合わせであり、見守りとのバランスが難しい課題だと感じる。 (萩市包括支援センター) →完全なマンツーマンでの見守りは現実的に困難であるため、作業活動を通じた見守りの中で、重大な事故やけがに繋がらないよう改善策の検討を続けていく。 (GH 管理者)</li> <li>食事の好みだけでなく、趣味等の嗜好を把握してケアに活かしていくことが大切だと感じた。 (萩市社会福祉協議会)</li> </ul>
<p>質問・助言・要望等</p>	<p>GH なごみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回の会議にて、今年度のまとめを報告予定。</li> <li>3月上旬に、夜間帯を想定した消防訓練を実施する。 (GH 管理者)</li> </ul>
<p>次回会議までの継続課題</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>
<p>備考</p>		<p>次回：令和 8 年 3 月 26 日 (木) 14:00 開催予定 開催場所：グループホームなごみ居間</p>